第２分科会　書くことⅠ

ことばを生かし、
学びをつなぐ国語教室の創造
～論理的に書くことのできる生徒の育成を目指して～

西都・児湯地区中学校国語教育研究会
新富町立富田中学校　長谷川　涼奈

目次

1　研究テーマ設定の理由

2　研究の内容

3　研究実践

4　研究の成果と課題

研究テーマ設定の理由

令和４年度「全国学力・学習状況調査」

「書くこと」

本県の生徒　全国平均より３．３ポイント↓

「記述式の条件を満たしていない」

「無回答率が高い」

書くことへの
苦手意識をもつ生徒が多い

「書くこと」への苦手意識

① 目的に応じて自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書くこと

② 表現や構成を工夫して書くこと

特に課題が
見られる点

「書くこと」へ
意欲をもつ！

論理の展開

根拠

「書くこと」
苦手意識

説得力

「書き方」が
分かる！

研究の内容

宮崎県西都・児湯地区紹介

西都市、木城町
都農町、川南町
高鍋町、新富町
西米良村

おとみちゃん

西都・児湯地区の生徒数

中学校　１６校
（うち小中一貫校６校）

生徒数　２，６５２名

「書くこと」への
意識は？

児湯地区　生徒の実態

児湯地区の中学生に
「書くこと」のアンケートを実施

- 回答項目　７項目
- 学年ごとに集計

児湯地区　生徒の実態

≪　回答項目　７項目　≫

①　自分の感想を書くことが…

②　自分の考えや意見を書くことが…

③　自分が体験したことをもとに書くことが…

④　構成や展開を工夫して書くことが…

⑤　読む人の疑問や反論を
予想して書くことが…

⑥　相手の意見や考えについて
賛成・反対などの立場で書くことが…

⑦　根拠を示しながら
自分の意見を文章に書くことが…

児湯地区　生徒の実態

④ 構成や展開を工夫して書くことが…

	得意・やや得意	苦手・やや苦手
1年生	33	67
2年生	20	80
3年生	35	65

小数点以下四捨五入　単位：%

児湯地区　生徒の実態

⑤ 読む人の疑問や反論を予想して書くことが…

	得意・やや得意	苦手・やや苦手
1年生	36	63
2年生	28	72
3年生	32	68

小数点以下四捨五入　単位：%

児湯地区　生徒の実態

⑦ 根拠を示しながら自分の意見を文章に書くことが…

	得意・やや得意	苦手・やや苦手
1年生	36	64
2年生	38	62
3年生	46	54

小数点以下四捨五入　単位：%

3年間を見通した授業づくり

ICT機器の効果的な活用

児湯地区の指導の柱

根拠を明確にして
説得力のある文章
を書く力

＋

論理の展開を
整えて書く力

→

書く力

研究実践

研究の視点

① 根拠を明確にして
説得力のある文章を書くことができる生徒の育成

② 論理の展開を整えて
書くことができる生徒の育成

①「根拠を明確にして説得力のある文章を書く力」を身に付けさせるために

学年	単元（教材）	言語活動
1年	根拠を示して説明しよう	グラフやデータなど資料を引用して根拠を示し、レポートを作成する。
2年	根拠の適切さを考えて書こう	「中学生にスマートフォンは必要か」というテーマについて反論を想定して、根拠に説得力をもたせて、賛成・反対の立場で意見文を書く。

①「根拠を明確にして説得力のある文章を書く力」を身に付けさせるために

１学年　根拠を示して説明しよう

≪手立て≫

- **客観的な根拠をもたせるために**、自分でアンケートを作成。その結果を根拠として示す。

≪ＩＣＴ機器の活用≫

- アンケート作成
- インターネットでの情報収集

①「根拠を明確にして説得力のある文章を書く力」を身に付けさせるために

２学年　根拠の適切さを考えて書こう

≪手立て≫

- **異なる立場からの考えに対して根拠を明確に示すことで説得力のある文章が書けることを理解させるため**に「反論」を想定するための話し合い活動。

≪ＩＣＴ機器の活用≫

- 話合い活動の様子を録画

授業実践例

単元：根拠の適切さを考えて書こう～意見文を書く
学習課題：反論を想定して根拠を明確に示し、
　　意見文を書こう。
テーマ：「中学生にスマートフォンは必要か。」

【手立て】
- 「客観的」「多角的」「反論」「説得力」など、学習用語をおさえる。
- 「反論」について考えるための話し合い活動。
- ワークシートの工夫。

授業実践例

学習用語

二

本時の目標

○ 討論で多角的に検討しよう。

① 役割を決める。

重要キーワード「反論」とは？

反論とは・・・

授業実践例

①（　　）型で書く。

意見
↓
根拠（説得力・客観性・反論を想定

② 骨組みをメモしよう。

☆ 確認 ～ 根拠の適切さを考える　＊教科書P

・意見を強く支えるものになっているか。

・事実を具体的に示しているか。（必要に応じて

・確かな事実や事柄（自分の実体験など）に基

意見	私は、中学生にスマートフォンは必要（
根拠	客観性　説得力 ① ②
反論に対する意見	☆ 想定される反論（自分の根拠に対して）

学習用語

授業実践例

「反論」を想定するための話し合い活動

テーマ：中学生にスマートフォンは必要か。

授業実践例

「反論」を想定するための話し合い活動

テーマ：中学生にスマートフォンは必要か。

授業実践例

「反論」を想定するための話し合い

テーマ：中学生にスマートフォンは必要か。

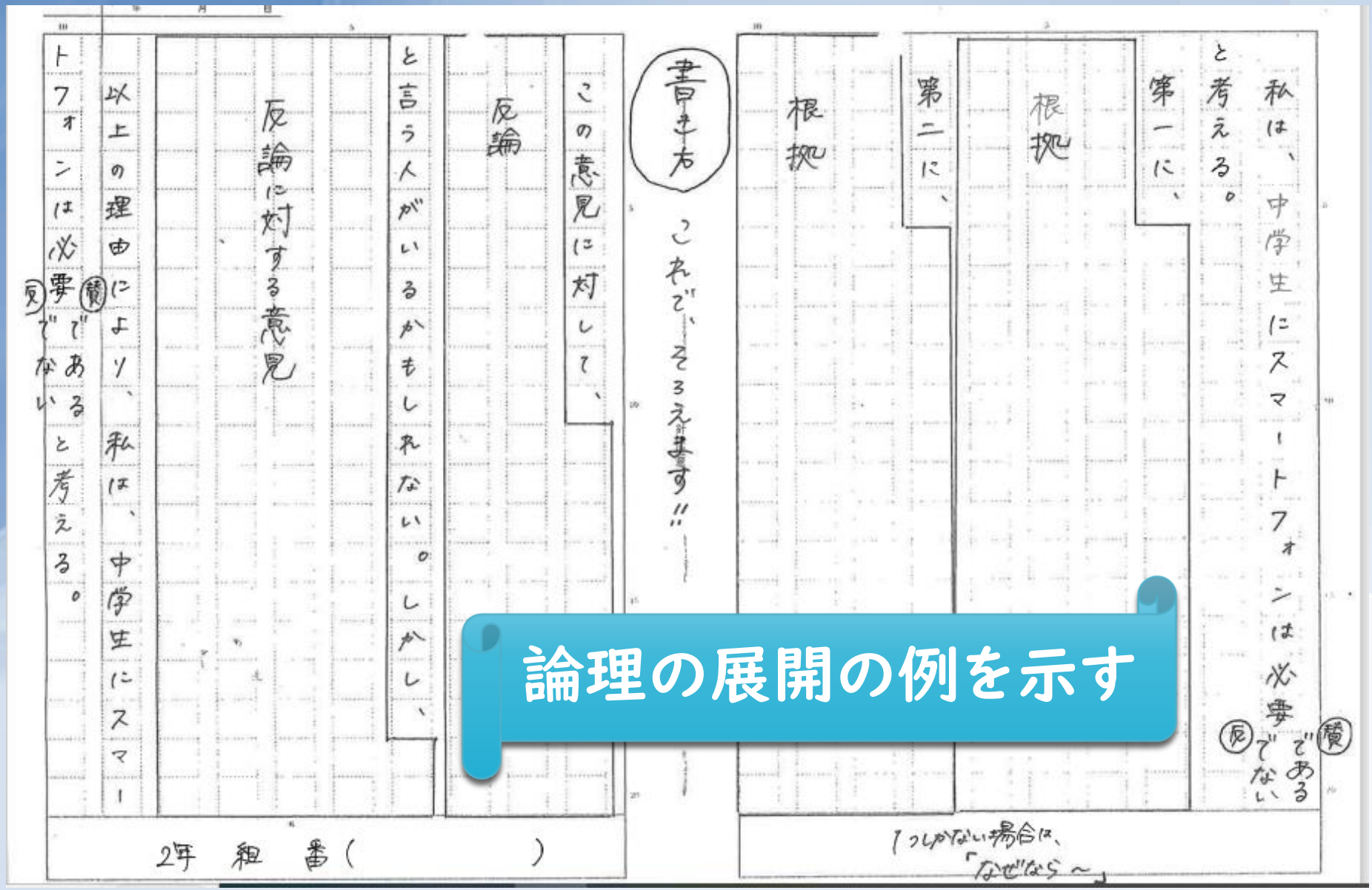
授業実践例

「反論」を想定するための話し合い活動

テーマ：中学生にスマートフォンは必要か。

授業実践例

ワークシートの工夫



論理の展開の例を示す

授業の検証

○ 学習用語をくり返しおさえる
→ 語彙を増やす。
それらを意識して「書く」ことに取り組む。

○ 「反論」を想定した話し合い活動
→ 根拠が明確に。
より説得力のある文章に。
意見や考えの深まり。

○ ワークシートの工夫
→ 整った論理の展開で「書く」ことができる。

②「論理の展開を整えて書く力」を身に付けさせるために

学年	単元（教材）	言語活動
3年	多角的に分析して書こう	教科書の例文を論理の展開や内容を見直して、意見が明確に伝わるよう推敲し、よりよい文章に整える。

②「論理の展開を整えて書く力」を身に付けさせるために

３学年　多角的に分

学びをつなぐ
≪系統的な指導≫

≪手立て≫

- **望ましい論理の展開に必要な文の構成に気づかせるため**に１、２年生の既習事項「具体と抽象」「事実と意見」「意見と根拠」の振り返りと活用

≪ＩＣＴ機器の活用≫

- 自己評価や他者との共有

②「論理の展開を整えて書く力」を身に付けさせるために

全学年共通の取組

≪手立て≫

○　積極的なワークシートの活用。

- 「論理の展開例」
- 「ナンバリング」
- 「接続詞の使い方」

研究の成果と課題

研究の成果と課題

成果

① 客観的な事実を根拠として書かせる
→ 説得力のある文章が書ける
② 推敲作業における意見交流、
工夫されたワークシートの活用
→ 論理の展開が整った文章が書ける
③ ICT機器の効果的な活用
→ 「書くこと」により積極的に取り組む

課題

① 単元で終わらせず、他の領域の学習や日常生活へ「つなぐ」
② ICT機器の習熟度を高める

ご清聴
ありがとうございました！